

マイカーに頼らなくても、元気で暮らせる名古屋の実現へ

敬老パス

2022年2月から 敬老パスの利用回数が 年間730回に制限されることを ご存じですか？



2022年2月から名鉄電車、JR電車、近鉄電車でも敬老パスが利用できるようになりました。しかし、同時に利用回数が年間730回に制限されます。仮にバスと地下鉄を乗り継ぐ人、名鉄と地下鉄を乗り継ぐ人は、毎日続けたら半年で終

わってしまう回数です。

敬老パスは高齢者の社会参加の支援のための制度です。働いたり、ボランティアをする人も増えています。高齢者の社会との接点を広げ、元気な名古屋をつくっている源です。

私たちは、名古屋市に対して、

敬老パスの利用回数制限をなくす、民間のバスにも使えるようにし、高齢者に限らず市民が、公共交通機関を利用しやすい環境整備を求めています。多くの市民のみなさんに、賛同いただき、署名いただけるようお願いいたします。

— 私たちからもお願いします —



天野 鎮雄 (俳優)

敬老パスは高齢者の元気の源です。よく使っていると言われるほどどんどん使いましょう。利用制限には反対です。

- 小池田 忠 (南大高学区区政協力委員長)
- 丹羽 典彦 (全日本年金者組合愛知県本部執行委員長)
- 早川 純午 (医師、愛知県民主医療機関連合会会長)

※その他、町内会長、老人会長、医師、歯科医師、弁護士などのみなさんに賛同をいただいています。

ON LINE

署名はオンライン署名サイト「change.org」の「敬老パスと地域交通の拡充で元気な名古屋をつくろう」でもできます。

ネット署名
change.org
ご賛同を！



スマホのバーコードリーダーをかざすと署名画面につながります。



集めた署名は下記の住所にお送りください。署名用紙が不足する場合はコピーをお願いします。下記ホームページからもダウンロードできます。

敬老パス・地域
交通拡充の会

2020年号外 発行：敬老パスと地域交通拡充で元気な名古屋をつくる会 (略称：敬老パス・地域交通拡充の会)
名古屋市北区柳原 3-7-8 自治労連会館内
TEL.052-916-2148 FAX.052-916-4189 E-mail:nkaksin@gaea.ocn.ne.jp URL:<http://kakushin.jp/>

敬老パス・地域交通の拡充を求める要請署名

名古屋市長
河村たかし様

【要請趣旨】

私たちは、敬老パスと市内交通の拡充で、マイカーに頼る必要がなく暮らせる名古屋を願っています。敬老パスは1973年、本山市政が生み出し市民の運動とともに発展してきました。名古屋市は、「高齢者の社会参加を支援し福祉の増進を図る」目的のこの制度の効果で、高齢者の社会参加、健康増進、地域経済活性化、環境改善の4つの点をあげています。

いま名古屋市は、2022年2月から敬老パス利用をJR・名鉄・近鉄に拡大する一方で、利用回数を年間730回に制限すると決定、実施の準備をすすめています。利用拡大は、市民の実現を求める運動が実ったもので、歓迎です。しかし利用回数制限は問題です。

ボランティアなどで活躍する高齢者の行動が制限されるばかりか、自粛の心理的圧力が加わり利用回数は確実に減るでしょう。敬老パスの目的や効果を低下させる「利用回数の制限」は、「やめてほしい」との声があがっています。

コロナ危機を乗り越える名古屋にあっては、高齢者が敬老パスを自由に使って街で買い物することを応援し、冷え込んだ経済に活気を取り戻すことが大切です。高齢者の様々な活動を応援し、元気な名古屋をつくることです。敬老パスは、文字通り日本一の制度で「名古屋市民の宝」です。さらに発展させ、みんなが元気になる名古屋を実現するため、以下の事項を要請します。

要請項目

1. 敬老パスの利用回数を制限しないこと
2. 敬老パスの利用を民間バスに拡大すること
3. 市バス路線の拡充、巡回バスの改善など交通不便地域を解消すること

氏名	住所

※記載いただいた個人情報は要請運動以外には使用いたしません

取扱団体：敬老パスと地域交通拡充で元気な名古屋をつくる会

名古屋市北区柳原3-7-8 自治労連会館内 TEL.052-916-2148 FAX.052-916-4189 E-mail:nkaksin@gaea.ocn.ne.jp